

2019年度 植草学園大学附属弁天こども園 学校評価 保護者アンケート 結果

- ・回収率は昨年度より12.2%上昇。評価も全体的に上回っている。保護者からのご意見や職員の振り返り、反省点などからの改善が評価につながったようだ。しかし、1.2評価も昨年度よりも多くなっているので精査したうえでの対応が求められる。

I. こども園の運営および園務の遂行に関すること

- ・6を除き5. 4評価の合計が80%と昨年より上回っている。6. 「こども園の会活動(現、ボランティア活動)に参加しやすいですか」については、昨年度より24.4%上回っている。こども園としても初めてのボランティア活動で手探りの状態であったが、保護者の方々が積極的に参加し、いろいろなアイデアやご意見なども出してくださったので、次年度に活かしていきたい。

II. 子どもの援助に関すること

- ・昨年度は、3. 「子ども一人ひとりを……」のみ90%以上であったが、今年度は保育をしていくうえで特に大切にしている4. 「優しく思いやりのある子……」 5. 「自主性と創造力……」 6. 「健康でたくましい子……」が4. 5評価の合計が90%を超えている。職員の丁寧な保育や日々の振り返りなどが保護者に評価されたことはとても嬉しく思う。

III. 家庭や地域、小学校との連携、子育て支援に関すること

- ・1. 「日常の健康観察や疾病予防の取り組み、健康診断に関して……」は全項目の中で2番目に良い評価である。家庭とこども園で健康の大切さや取り組みを共有し実施しているので良い方向に向かってることがわかる。

その他保護者の意見から

- ・「子どもの生活にかかわることで大きく変わるなどについて(改修工事や紙おむつへの変更等)の説明が不十分であった」というご意見があった。今後は保護者説明会や保育参観日などを利用し細かく丁寧に説明できるようにしていかなければならない。
- ・こども園での様子や地域との連携について伝わりにくいところもあるので、ホームページやお便り等を活用し「可視化」に努めていく必要がある。